

シラバス

授業科目	ライフデザイン	単位数	2	履修学年	2年選択
------	---------	-----	---	------	------

1 教科・科目の目標

人間の健全な発達と生活の営みを総合的にとらえ、家族・家庭の意義、家族・家庭と社会との関わりについて理解させるとともに、生活に必要な知識と技術を習得させ、家庭や地域の生活を創造する能力と実践的な態度を育てる。

食生活分野や消費生活などに関する知識と技術を総合的に習得させ生活課題を主体的に解決するとともに、家庭生活の充実向上を図る能力と実践的な態度を育てる。

2 学習内容と学習方法

①学習内容

食生活分野 生涯の健康を見直した食生活をつくろう

消費生活分野 経済生活を設計しよう

消費生活分野 持続可能な社会をめざして行動しよう

②学習方法

ワークシート、各種資料などを使い、生活の営みを人の一生とのかかわりの中で捉え、食生活分野及び消費生活分野と資源・環境などに関する知識と技術を、実際の生活の場で生きて働く力となるよう総合的に学習・習得する。

3 評価の方法

『知識・技能』、『思考・判断・表現』、『主体的に取り組む態度』については、ワークシートや定期考査、授業に取り組む姿勢、提出物等を用い、総合的に評価する。

1、2学期の評価においては素点（100点法）、年間の評価は1～3学期の成績を平均したものに基いて総合的に評価し、評定（5段階）で評価する。

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に取り組む態度
食生活及び消費生活の意義や役割を理解し、生活を充実向上するために必要な基礎的・基本的な知識・技能を身に付けている。	家庭や地域の生活について課題を見だし、その解決を目指して思考を深め、適切に判断し工夫し創造する能力を身に付けている。	家庭や地域の生活について関心をもち、その充実向上を目指して主体的に取り組もうとするとともに、実践的な態度を身に付けている。

学 習 計 画		2年選択	科目名	ライフデザイン
月	単 元 名	学 習 内 容		身に付けさせたい力
4月	生涯の健康を見通した食生活をつくろう	1 食生活の成り立ち	1 食生活の成り立ち 2 栄養と食品 3 安全で環境に配慮した食生活 4 食文化を考えよう 5 健康につながる食事計画	食生活の課題について具体例を考えることができる。栄養や健康とかかわらせて考えることができる。 食中毒の種類や予防のポイント、食品添加物の用途について理解し、食品を選ぶことができる。 食文化に関心を持ち、食事摂取基準、食品群を理解し、その目的と生活の中での利用方法を理解する。
5月				
6月 7月				
9月	生涯の健康を見通した食生活をつくろう	6 調理の基本を学ぼう	6 調理の基本を学ぼう 1 現代の消費生活 2 消費者問題の現状と課題 3 消費者の権利と責任 4 消費生活における意思決定 5 家庭の経済生活	調理の基本を理解する。 経済発展や技術の進歩により、消費生活は多様化・複雑化していることを理解する。現在の生活と将来の生活をつなぐために家計管理が必要であること、またその方法を知る。
10月	経済生活を設計しよう			
11月				
12月				
1月 2月 3月	持続可能な社会を目指して行動しよう	1 環境と調和のとれた生活 2 持続可能な社会の実現をめざして	持続可能な社会と個々人のライフスタイルの関連を理解させ、実践に結びつけられるようにする。	